

## 路面性状簡易調査方法に関する訪米調査報告会 Q & A 記録

2014.2.6

バンプレコーダー株式会社

2014年2月4日に開催した弊社の「路面性状簡易調査方法に関する訪米調査報告会」の席上いただきましたご質問とそのときの回答について、以下に記します。以下は当日回答した内容と同等ですが、理解いただきやすいように言い回しなどを変えています。その点ご了承ください。

### ◆世界銀行との打ち合わせについて

Q：世界銀行が実施したスマホアプリの計測精度評価試験で、悪路でのIRIがばらついたとのことだが走行位置がずれていたとか、砂利道でそもそも路面形状が固定していないとかはなかったのか？

A：その点は質問したが、舗装された道路で走行位置が一定になるように注意したとの事だった。左右片側の凹凸を検知できるか質問を受けたところから見ると、走行位置が少しずれただけでIRIが大きく変化する場所だった可能性はあると思います。

(他の参加者からのコメント)

- ・マレーシアのゴム園などでは植物の根が張り出し凹凸になることもある。
- ・IRIが8～12と言うのは簡易舗装で路肩が剥がれているようなところではないか。

Q：左右片側の凹凸を検出するためにスマートフォンをダッシュボードの中央に置く理由は？

A：日本の道路管理では平たん性はOWP（Outer Wheel Path：左輪側）で見ているので左側に置くことを推奨しますが、この場合、凹凸が右側のみにはしか無いと左側はほとんど上下動しないので見逃すおそれがあります。中央であれば左右どちらでも見逃すことはありません。ただし左右片側の凹凸の場合、中央の上下動が半分になる点に注意が必要なので、何を測りたいかによって設置位置を選んでいただくのが良いと思います。

Q：世界銀行が何社にも問い合わせをしている意図は？

(他の参加者からのコメント)

- ・世界銀行はIRIを制定した組織なのでIRIを使った道路管理を広めたいからではないか。

Q：世界銀行が違う車種でも高い再現性を求めている意図は？

(他の参加者からのコメント)

・年式が経った古い車でも計測できるか、と言う意図ではないか。

◆ワシントン州運輸省との打ち合わせについて

Q：WSDOTで集めた大量のデータは目視で確認している？自動で処理されている？

A：それに関して直接の説明はなかったが、実際のシステムを見せていただいた感じでは目視で確認しているようでした。

◆アメリカの状況について

Q：アメリカのボストンではストリートバンプと言うアプリが使われているが、それをどう見ているか？

A：ご紹介ありがとうございます。はじめて知りましたので勉強させていただきます。